

第1学年国語科学習指導案

平成18年 9月 28日(木) 5校時

第1学年さくら組 男12名 女9名 計21名

指導者 平田 敬子

1. 単元名 くらべてよもう
教材名 じどう車くらべ (光村図書・上)

2. 単元設定の理由

(1) 児童について

児童が入学して初めての説明的文章は、7月に学習した「いろいろなくちばし」である。「問いかけの文」「答えの文」という説明的文章の基本文型を繰り返し読む過程で文型に慣れ、内容の大体を読み取る学習をしてきた。課題に対する答えの文を見つけるためにサイドラインを引いたり、視写したり、絵と文を照らし合わせたりする活動や、答えの文をもとに、くちばしのはたらきとくちばしを使う目的を読み取る活動を行ってきたが、個人差が大きい。

どの学習に対しても、意欲的に取り組む児童が多く、日頃から本に親しみ、読み聞かせも大好きである。平仮名については、大体を理解し、書くことができる。しかし、音読については、すらすら読めても語や文の意味まで考えられずに読んでいる児童や、拾い読みの児童も数名いる。また、友達の前での発表を恥ずかしがったり、自分の考えに自信が持てずになかなか考えを言えない子もいる。

本教材に関わりのある自動車についての知識は、全体として多いとは言えない。写真等を掲示したり、図書資料などで調べたりしながら学習を進める必要があると思われる。

(2) 教材について

第1・2学年の読むことにおける目標は「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。本教材では、「易しい読み物に興味を持ち、読むこと。」「時間的な順序・事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」「語や文としてのまとめりや内容、響きなどについて考えながら声に出して読むこと。」について扱う。

本単元「じどう車くらべ」は、自動車の機能と構造とを関連付けて考えるように書かれている。まず、前書きの部分で児童の関心をいろいろな自動車に誘い、それぞれの自動車がどんな「しごと」をし、そのためにどんな「つくり」になっているのかを問いかけ、読者に疑問や着眼点が芽吹くようになっている。そして次の段落からは、三種類の自動車の説明が「しごと」とそのための「つくり」という二つの事柄の因果関係で述べる形をとっている。条件や理由を表す言葉を用いて表現することにより、いっそう機能と構造の関連を明確にさせることができる。また、身近な自動車という題材を通して、児童の興味・関心を生かし、読書活動に結びつけて調べたり表現したりする活動へも発展できる教材である。

本教材は、「ちがいをかんがえてよもう どうぶつの赤ちゃん」の特徴や違いなどを考えながら大体の内容を読み取る学習へとつながっていく。

(3) 指導にあたって

本教材は「話題・問題提示 問題に対する説明」を通して、「しごと」と「つくり」という二つの事柄の関係を考えながら内容の大体を読む力を育てることがねらいである。前書きの問いかけの文章によって、疑問や語句に着目した問題意識を持たせ、興味を持って読み進めることができるようにしていきたい。また、挿絵も使いながら知っている自動車について出し合い、自動車図鑑を作る計画を立て、興味・関心を持続させていきたい。

読み取りでは、まず「しごと」について捉えさせ、そのためにどのような「つくり」になっているかを考えさせながら、事柄の順序に従って読み取らせていく。「そのために」という言葉の役割を考えさせながら、繰り返し読むことで、説明文の構成や言葉の使い方にも慣れさせるようにしたい。繰り返して本教材の文章構成(しごと そのために つくり)にふれ、考えを深めていくことで、説明文の文型が自然に身に付くようにしていきたい。また、挿絵も有効に使って、言葉と絵を結びつけながら読み取らせたり、大事な言葉をイメージ化させたり、前時の自動車と比べながら読むことによって、より確かに読み取ることができるようにする。絵や文章から読む過程で、新しく知ったことが増えていく楽しみを味わわせ、説明的文章を読み、物事を新しく知ったり、いろいろな本を読みたくなったりするような雰囲気を作り、読むことの楽しさを見つけられるように配慮したい。

また、友達の前では恥ずかしいと抵抗のある児童でも、徐々に声を出すことができるように役割読みなど繰り返し声に出すことを位置付けることで、声を出す機会を多くし、友達の前で発表することに慣れさせたい。そして、音読や伝えることの楽しさを体感できるようにしていきたい。

学習する文章が長くなり、漢字や片仮名も多く出てくるようになってきているので、音読や視写を正しく丁寧にするように気を付けさせていきたい。

(4) 研究仮説に関わって

仮説1に関わって、本単元のキーワードを「じどう車のひみつ」とする。このキーワードから、それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」の関係に目を向けさせるようにしていく。一人読みでは、自動車の「しごと」と「つくり」が書いてある文にサイドラインを引いたり、視写したりして、大事なところに気付かせていく。また、それぞれの自動車の「しごと」を確認した後に、そのための「つくり」を読み取らせ、挿絵と照応させる活動を位置付けることによって、自動車の「つくり」を視覚的にも理解できるようにし、自動車の「しごと」と「つくり」の関係について確かに読み取らせていく。

仮説2に関わっては、入門期の児童が自分で考えたこと、伝えたいことを安心して話すことができるような支援の場とする。相手に分かるように話したり、大事なことを落とさないように聞いたりさせる。また、自動車の「しごと」と「つくり」の関係について確かに読み取らせ、大事な言葉のイメージをつかませるために、言葉で詳しく説明したり、動作化をしたり、他の自動車とくらべたりする少人数での交流の場を

設定し、読み取りが深まるようにする。

3. 単元の目標と評価基準

(1) 単元の目標

自動車の「しごと」と「つくり」の関係に興味を持って、内容の大体を読み取ることができる。

[関心・意欲・態度] いろいろな自動車の「しごと」と「つくり」に興味を持ち、本や図鑑を読むことができる。

[読むこと] 他の自動車と比べることによって、自動車の「しごと」と「つくり」の関係を読み取ることができる。

[言語事項] 片仮名で書く語を読んだり書いたりすることができる。

(2) 単元の評価基準

国語への関心・意欲・態度	読むこと・書くこと	言語についての知識・理解・技能
・自動車の「しごと」と「つくり」の関係に興味を持ちながら本や図鑑を読もうとしている。	・他の自動車と比べながら、自動車の「しごと」と「つくり」の関係を読み取っている。	・片仮名で書く語を正しく読んだり書いたりしている。

4. 指導計画（8時間扱い・読むこと6時間）

読育 みての たかい		<ul style="list-style-type: none"> 身近な自動車に関心を持ち、車の「しごと」と「つくり」について興味を持って読もうとする。（関・意） 	<ul style="list-style-type: none"> 三種類の自動車について、仕事と作りの関係を考えながら内容の大体を読む。（読イ） 語や文のまとまりを考えながら、声に出して読む。（読工） 教材文を参考にして、簡単な組み立てを考えて好きな自動車の「しごと」と「つくり」を説明する文を書く。（書ウ） 片仮名で書く語を読んだり書いたりする。（言工） 	<ul style="list-style-type: none"> 乗り物の本などに興味を持ち、探して読む。（読ア） 教材文を参考にして、簡単な組み立てを考えて好きな自動車の「しごと」と「つくり」を説明する文を書く。（書ウ） 片仮名で書く語を読んだり書いたりする。（言工） 	
活動 の流れ	<p>1年</p> <p>「いろいろな くちばし」</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真を手がかりにして問いかけと答えの文を比べたり確かめたりしながら内容の大体を読む。 	<p>自動車について知っていることを話し合い、自動車図鑑を作る計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> どんな自動車があるのかな。 	<p>教科書を読み、書かれている内容の大体を読み取り、自動車の「しごと」と「つくり」を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> どんなしごとをしているのかな。 どんなつくりになっているのかな。 	<p>自分が選んだ自動車について「しごと」と「つくり」を考えながら、自動車図鑑を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> どの車の図鑑を作ろうかな。 この車は、どんな「しごと」と「つくり」をしているのかな。 	<p>1年</p> <p>「どうぶつの赤ちゃん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ライオンとしまうまの赤ちゃんの特徴や違いなどを考えながら大体の内容を読み取る。
段階	事前	つかむ（1時間）	読み取る・まとめる（4時間）	ひろげる（3時間）	事後
学習活動 交流の場 留意点	<p>問い・答え・説明という基本文型を学習した。</p>	<p>1時 自動車について知っていることを話し合い、自動車図鑑を作る計画を立てる。</p> <p>自動車について知っていることを話し合い、自動車に関心を持って教材文を読む。 自動車図鑑を作る計画を立てる。 新出漢字の学習をする。 知っている自動車について話し合い発表し合う。 既製の図鑑を見せ、図鑑とは絵や写真を使っているいろいろなものを説明している本であることを理解させる。</p>	<p>2時 「バス」や「じょうよう車」の段落を読み、「しごと」と「つくり」の関係について理解する。</p> <p>3時 「トラック」の段落を読み、「しごと」と「つくり」の関係について理解する。（本時）</p> <p>4時 「クレーン車」の段落を読み、「しごと」と「つくり」の関係について理解する。</p> <p>5時 「はしご車」について説明する文を書き、学習したことを確かめる。</p> <p>それぞれのじどう車の「しごと」と「つくり」について読み取る。 「はしご車」について「しごと」をするためにどんな「つくり」になっているか話し合い説明文を書く。 それぞれのじどう車の「つくり」と「しごと」について、交流する。 「問い」の文を確かめたうえで、それぞれの場面が「答え」にあたることを押さえる。 どんな「しごと」をしているか、どんな「つくり」になっているかの2つのまとまりで書かれていることに気付かせる。 「そのために」の言葉に着目させ、どんなつくりになっているか考えさせる。</p>	<p>6時 図鑑や資料、教科書の中から、図鑑にまとめる車を選んで調べる。</p> <p>7時 教材文を参考に、選んだ車の「しごと」と「つくり」を考えながら文を書く。</p> <p>8時 出来上がった図鑑を紹介し合う。</p> <p>図鑑にまとめる車を選んで調べる。 教材文と同じように、仕事と作りを考えて説明する文や挿絵を入れて図鑑を作る。 出来上がった図鑑をグループで紹介し合う。 作った自動車図鑑を紹介し合う。 本を選ぶ時間を十分に取り、必要に応じて一緒に探したり、助言したりする。 本によっては、仕事と作りなどがはっきりと書かれていないものもあるので、あまり、仕事と作りにこだわりすぎないで書き進めさせるようにする。</p>	
具体 の評価 規準		<ul style="list-style-type: none"> 自動車について知っていることや自分の経験を話そうとしている。（発言） 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの車の「しごと」がわかり、そのためにどんな「つくり」になっているかを読み取っている。（ワークシート・発表） はしご車の「しごと」がわかり、そのためにどんな「つくり」になっているか話し合い、はしご車について説明文を書いている。（ワークシート・発表） 	<ul style="list-style-type: none"> 選んだ自動車について「しごと」と「つくり」を考えながら、説明文を書いている。（図鑑作りの様子の観察・カード） 	

5. 本時の指導

(1) 本時の目標

絵や文から、クレーン車の「しごと」がわかり、そのためにどんな「つくり」になっているか読み取ることができる。

(2) 研究仮説に関わって

仮説1 クレーン車の「しごと」と「つくり」が書いてある文にサイドラインを引いたり、視写したり、絵と文を結びつける活動を位置付けることで、一人学びによる課題解決が図られるようにする。

仮説2 本時の交流の場を以下のように設定した。

目的・・・クレーン車の「しごと」がわかり、そのためにどんな「つくり」になっているか読み取るため。

相手・・・隣の席の友達と。(2～3人)

内容・・・クレーン車の「しごと」と「つくり」が書いてある文にサイドラインを引いたところを確認したり、クレーン車の「しごと」と「つくり」についてを話し合う。

方法・・・話し合い。

(3) 展開

段階	学 習 内 容	指導上の留意点	支援	評価
つかむ 5分	<p>1 前時の想起 トラックは、どんな「しごと」をしていましたか。そのために、どんな「つくり」になっていましたか。</p> <p>2 学習課題の把握 これは、何という自動車ですか。 クレーン車のひみつをみつけよう。</p>	<p>「しごと」と「つくり」について確認する。</p> <p>前時を想起しながら、本時の課題をつかむことができたか。</p>		
読み取る	<p>3 学習の見通し クレーン車の場面を音読しましょう。</p> <p>4. 読み取り クレーン車の「しごと」が書いてあるところをみつけましょう。 ・クレーン車は、おもいものをつりあげるしごとをしています。 線を引いたところを、隣のお友達と確認しましょう。</p> <p>クレーン車の「つくり」が書いてあるところをみつけましょう。 ・そのために、じょうぶなうでが、のびたりうごいたりするように、つく</p>	<p>「しごと」と「つくり」に気を付けながら音読させる。</p> <p>「しごと」が書いてあるところにサイドラインを引かせ、視写させる。 サイドラインを引けない児童には、写真と言葉を照らし合わせて考えさせる。 「しごと」について書いてある文に、サイドラインが引けたか。</p> <p>(観察・挙手・発表)</p> <p>「つくり」が書いてあるところにサイドラインを引かせ、視写させる。 サイドラインを引けない児童には、写真と言葉を照らし合わせて考えさ</p>		

33分	<p>ってあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車たいがかたむかないように、しっかりしたあしがついています。 <p>線を引いたところを、隣のお友達と確認しましょう。</p>	<p>せる。</p> <p>「つくり」について書いてある文に、サイドラインが引けたか。</p> <p>(観察・挙手・発表)</p> <p>前時と同じように「そのために」の言葉に着目させながら、どんなつくりになっているのかを考えさせることで、「そのために」が「しごと」と「つくり」をつなぐ役割をしていることの理解を深めさせる。</p> <p>ワークシートを活用する。</p>
	<p>5. 交流</p> <p>クレーン車は、「じょうぶなうで」「しっかりしたあし」を使って、おもいものをどんなふうに「つりあげる」のでしょうか。隣のお友達と相談しましょう。</p> <p>クレーン車は、「じょうぶなうで」「しっかりしたあし」を使って、「おもいもの」をどんなふうに「つりあげる」のでしょうか。</p>	<p>「つりあげる」「じょうぶなうで」「しっかりしたあし」という語句のイメージをつかませるために、言葉で詳しく説明したり、動作化をしたりさせる。最初は少人数での交流をさせる。</p> <p>取りかかれない児童には、写真と言葉を照らし合わせ、動作化させる。</p> <p>少人数で確認したことを発表する。自分の言葉と動作により表現している。(観察・発表)</p>
まとめる7分	<p>6. 学習のまとめ</p> <p>今日の学習をまとめましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>クレーン車は、おもいものをつりあげるために、じょうぶなうでが、のびたりうごいたりするようにつくってあります。車体がかたむかないように、しっかりとしたあしがついています。</p> </div> <p>まとめの音読をする。</p> <p>7. 評価と次時の予告</p> <p>自分のがんばったことを発表しましょう。</p> <p>友達の良いと思った考えを発表しましょう。</p> <p>次の時間は、はしご車の「しごと」と「つくり」を勉強します。</p>	<p>ワークシートにまとめる。</p> <p>クレーン車の「しごと」と「つくり」についてまとめることができたか。</p> <p>(ワークシート)</p> <p>内容の読みとりについて自己評価・相互評価させ、次時への意欲付けを図る。</p>

(4) 評価

評価目標	評価基準		
	A 十分満足	B 概ね満足	C 努力を要する 児童への手立て
絵や文から、クレーン車の「しごと」がわかり、そのためにどんな「つくり」になっているか読み取ることができる。	「じょうぶなうで」「しっかりしたあし」「つりあげる」等に注目して、クレーン車の「しごと」と「つくり」の関係を読み取り、その様子を豊かに表現している。	「じょうぶなうで」「しっかりしたあし」「つりあげる」等に注目して、クレーン車の「しごと」と「つくり」の関係を読み取り、その様子を表現している。	挿絵を使い、「うで」「あし」の場所を確認させる。そして、「じょうぶなうで」「しっかりしたあし」は、どうして付いているのかを考えさせる。

(5) 板書計画

しまうつ っすでりク か があレ り車のげ と体びるン し が た た 車 た か り め は あ た う に お し む ご じ も が か い よ い つ な た う の い い り ぶ も て よ し な を い う ま に す	ま と め	・ ・ し じ つ よ か う り ぶ し な た う あ で し	つ く り	そ の た め に	・ ・ た て い か つ も い ・ の と き を こ ろ つ ま で り あ げ る	し ご と	ク レ ー ン 車 の ひ み つ を み つ け よ う	じ ど う 車 く ら べ
--	-------------	---	-------------	-----------------------	--	-------------	---	---------------------------------

クレーン車の
挿絵

教材構造図「じどう車くらべ」

意味段落	構成	形式段落	小見出し	要点
1	話題提示		問題提起	いろいろなじどう車が走っている。
	問題提示			どんなしごとをしているか。 どんなつくりになっているか。
2	事例 1		バスや じょうようしゃ	バスやじょうようしゃは、人を乗せて運ぶしごとをしている。 そのために、座席のところが多く作っており、外の景色が見えるように大きな窓がたくさんある。
3	事例 2		トラック	トラックは、荷物を運ぶしごとをしている。 そのために、運転席のほかは広い荷台になっていて、タイヤがたくさんついている。
4	事例 3		クレーン車	クレーン車は、重い物を吊り上げるしごとをしている。 そのために、丈夫な腕が伸びたり動いたりするように作っており、車体が傾かないようにしっかりとした足が付いている。

【要 旨】

いろいろなじどう車がある。じどう車は、どんなしごとをしているかによって、そのしごとにあつたつくりになっている。

【段落構成】

